

平成28年11月30日  
(2016年)

保護者の皆さまへ

吹田市立古江台中学校  
校長 藤田 悟 己

## 平成28年度 全国学力・学習状況調査の分析について

本年度、3年生を対象として「平成28年度全国学力・学習状況調査」を実施し、9月上旬に個人ごとの結果をお返ししました。また吹田市でも、今回実施した調査結果の概要を吹田市のホームページを通じて公表しております。

この調査は中学校の最終学年のみを対象とした調査であり、教科も国語と数学に限られ、測定されたものは学力の一部であり、学校における教育活動の側面に過ぎません。そのことをまず踏まえつつ、調査によって得られた課題を明らかにし、その改善に全力を注ぐことが、調査本来のねらいであると考えています。

対象となった3年生には、よりきめ細やかな指導ができるよう取り組みを進めるとともに、学校全体として課題に応じた学力向上につながる具体的な指導法の工夫改善も図ってまいります。各ご家庭におかれましても、以下の分析結果をもとに、今後の家庭学習の指針として、参考にしていただきますようお願いいたします。

### 1 教科に関する調査結果の分析

#### 【国語】

##### 概要

- ・A問題・B問題ともにどの領域でも正答率は全国値を上回っている。
- ・一方で、無解答率が全国値を上回るものも複数あった。
- ・「読むこと」の領域では、資料から必要な情報を集めることに課題が見られる。

#### 国語A（「知識」に関する問題）における各領域の成果と課題

##### ◇話すこと・聞くこと

- ・正答率は全国値を上回っており、良好な結果が見られる。
- ・場面に応じた言葉の活用に課題が見られる。

##### ◇書くこと

- ・正答率は全国値を上回っており、特に表現力に良好な結果が見られる。
- ・資料から根拠を明確にして書く問いに課題が見られる。

##### ◇読むこと

- ・正答率が全国値を上回り、相当数の生徒が理解できている。
- ・一方で、「目的に応じて要旨を捉える」「表現の特徴を捉える」趣旨の設問については無解答率が全国値を上回り、生徒個々の理解に差があることがわかる。

##### ◇伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項

- ・正答率は全国値を上回り、良好な結果である。特に、漢字の反復練習の成果が出ていると考えられる。
- ・適切な古語の意味（「忘れがたき」）は正答率が他の語句に比べて低く、無解答率が全国値を上回るが、同時に正答率は全国値を上回っており、生徒個々に差が見られる。

#### 国語B（「活用」に関する問題）における各領域の成果と課題

##### ◇書くこと

- ・与えられた条件の中で理由や自分の考えを書く設問については、八割近くが正答しており、生徒の努力が確認できる。

##### ◇読むこと

- ・正答率は全国値を上回るが、統計・図から情報を読み取ることに課題がある。

#### 国語科における具体的な成果と課題、今後の指導改善点について

- ・今回の調査から、生徒の日常の学習成果と努力を確認することができた。漢字の反復練習など、日頃の積み重ねが成果として表れている。
- ・複合的な設問（複数の観点にまたがる設問）への解答に課題が見られた。
- ・今後も少人数授業において個に応じたきめ細やかな指導を行う。
- ・文法・作文・発表についての学習の充実を図ると共に、資料を読み解いて活用する機会を授業の中で設ける必要がある。
- ・全ての設問に取り組む姿勢を育てるために、学習に向き合う意識と自己肯定感を高める場面の工夫を行う。

#### 【数学】

##### 概要

- ・A問題・B問題ともに、どの領域でもほとんどの問題で正答率は全国値を上回り、無解答率は全国値を下回っている。
- ・一方でA問題「図形」の領域で、正答率が全国値を下回るものがあった。

#### 数学A（「知識」に関する問題）における各領域の成果と課題

##### ◇数と式

- ・計算や基礎知識を問う問題は相当数の生徒が理解できおり、正答率が全国値を上回り、無解答率も全国値を下回っている。

##### ◇図形

- ・図形に対する基本的な知識や計算処理の力は、全国値を上回りよくできている。
- ・さらに、証明や説明を行うこと等の数学的な見方も全国値を上回っている。
- ・作図等の根本的な意味の理解が不足している生徒が見受けられる。
- ・命題や逆などの日常であり使うことのない言葉に対して、理解が不足している。

##### ◇関数

- ・関数に関する基本的な知識は全国値を上回るが、関数と図形の組み合わせのように複数の分野にまたがる設問になると、解答ミスをする生徒が見られる。

##### ◇資料の活用

- ・「最頻値」などの用語の意味をきちんと理解することに課題のある生徒が見られる。

#### 数学B（「活用」に関する問題）における各領域の成果と課題

##### ◇数と式

- ・全ての問題で、正答率が全国値を上回り、概ね理解できている。
- ・与えられた式を用いて、問題を解決する方法を数学的に説明する力に課題がある。

##### ◇図形

- ・図形の証明問題で、根拠をはっきりさせて記述する力にやや課題がある。説明を行う前に、基本性質の確認を十分に行うことが必要と思われる。
- ・平行四辺形と類似の四角形（長方形・ひし形・正方形など）の関連性への理解が不足ぎみと思われる。

##### ◇関数

- ・全ての問題で、正答率が全国値を上回るが、長文問題では全体を把握して答えを出すことが不得手であると思われる。
- ・正答は出せても、その理由や求め方について説明する力に課題がある。

##### ◇資料の活用

- ・資料から情報を読み取り、それを説明する力に課題がある。

## 数学科における具体的な成果と課題、今後の指導改善点について

- ・今回の調査から、どの領域においても高い正答率のものが多く、少人数授業の成果や、生徒の日頃の努力の成果が確認できた。
- ・図や表を見て、その意味や理由または解き方を説明する力に課題が見られた。
- ・問題文の意味や意図を読み取る力を育てる必要がある。
- ・少人数授業を通じて、文章や図から情報を読み取る力や、説明する力を養っていけるよう、個に応じたきめ細やかな指導を行う必要がある。

## 2 生活習慣や学習環境等に関する調査の傾向

### 【自分自身のことについて】

- ・「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある」「新聞を読んでいる」については全国値を上回っている。
- ・「将来の夢や目標を持っている」「はじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」については、全国値をやや下回っている。
- ・「難しいことでも失敗を恐れないで挑戦している」「人が困っているとき進んで助けている」については、全国値を下回っている。

### 【家庭生活・生活習慣について】

- ・毎日同じくらいの時刻に就寝・起床できている生徒が多いが、「朝食を毎日食べている」「家の手伝いをする」については、全国値をやや下回っている。
- ・「普段（月～金）、1日2時間以上『テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりする』『テレビゲーム、携帯式のゲーム、形態電話やスマートフォンを使ったゲームをする』『1日2時間以上、携帯電話やスマートフォンで通話やインターネットをする』」という生徒は全国値と比較して少ない。
- ・「家の人と学校での出来事について話をする」については、全国値を下回っている。

### 【学校生活について】

- ・「400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しい」「自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しい」については、全国値を上回っている。
- ・「学校に行くのは楽しい」「学校の規則を守っている」「友達との約束を守っている」「先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う」については、全国値をやや下回っている。
- ・「友達と話し合うとき、友達の話や意見を最後まで聞くことができる」「学級会などの話し合いの活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを活かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめている」「学級みんなで何かをやり遂げ、嬉しかったことがある」については、全国値を下回っている。

### 【学習習慣について】

- ・「学校の授業時間以外に、普段（月～金）、2時間以上勉強する」生徒は全国値を上回っているが、同時に「全くしない」生徒も全国値を上回っている。また、「学校が休みの日に、1日2時間以上勉強をする」については、全国値を下回っている。
- ・「学習塾に通っている」生徒は全国値より多い。
- ・「読書をする」「学校図書館や地域の図書館に月1回以上行く」については、全国値を下回っている。

### 【今後の取り組み】

今回の調査の結果を踏まえ、本校では、生徒達に生きる力の礎となる自己肯定感を育み、自分と他者との関わりについて体験し考える取り組みや、読書活動の活性化に向けた取り組みを進めていきます。学習については、基礎的・基本的な知識と技能の習得の徹底と、思考力・判断力・表現力の向上を図るため、教職員個々の指導力の向上と授業の質的向上に努めてまいります。具体的には、アクティブラーニングの推進、授業のめあて・ねらいの明示、ふりかえりの作業の徹底など、授業方法の工夫改善に努めるとともに、少人数授業を充実させ、個に応じたきめ細やかな指導を推進していきます。

ご家庭におかれましては、学校生活についてお子様とたくさん会話する時間を持っていただきたいと思っております。また、学習課題や学習習慣については、毎月発行している「学習ナビ」等をご活用いただく等、お子様の学習意欲の向上と学習習慣の定着、また基本的生活習慣の確立に向けてご協力くださいますようお願い申し上げます。